

## 令和7年度春日井市救急医療対策会議議事録

- 1 開催日時 令和8年3月26日（木）午後1時から午後2時まで
- 2 開催場所 春日井市役所10階 1004・1005会議室
- 3 出席者
  - 【会長】 春日井市医師会会長 前田 誠司
  - 【委員】 春日井市薬剤師会会長 林 きよみ  
東海記念病院理事長 岡山 政由  
名古屋徳洲会総合病院副院長 天野 貴之  
春日井市休日・平日夜間急病診療所管理者 隈井 知之  
春日井市消防本部消防長 中西 理雄
  - 【関係者】 春日井市歯科医師会副会長 中田 幸成  
春日井保健所次長兼総務企画課長 岩本 佳幸  
春日井市民病院副院長 小栗 光俊
  - 【事務局】 健康福祉部長 神戸 洋史  
健康増進課長 児島 康万  
同課長補佐 野口 健太  
同課主査 梶田 裕倫子  
同課主任 白井 小百合  
同課主事 小林 千花  
消防救急課長 渡邊 祐輔  
市民安全課長 長谷川 英輝  
同課長補佐 後藤 邦昌  
同課主査 加藤 剛大
  - 【傍聴者】 なし

#### 4 議題

- (1) 各機関の救急医療の実績について
- (2) 休日・平日夜間急病診療所の患者数と経営状況について
- (3) 春日井市新型インフルエンザ等対策行動計画について

#### 5 会議資料

資料1 各機関の救急医療の実績

資料2 春日井市休日・平日夜間急病診療所の状況について

資料3 春日井市の財政状況

資料4 春日井市新型インフルエンザ等対策行動計画

#### 6 議事内容

議事に先立ち、会長及び副会長の選出、会議公開の説明を行った。

議事録の署名は、会長及びあらかじめ会長が指名する委員（林委員）となった。

#### 議題(1) 各機関の救急医療の実績について

【前田会長】

はじめに議題(1)、各機関の救急医療の実績について事務局より説明をお願いします。

【事務局 野口補佐】

資料に基づき説明。

【前田会長】

議題(1)について、事務局から説明がありましたが、何か御意見や御質問などはございますか。

私から1点、救急活動の要請が増えてきているとのことですが、原因はどんなことが考えられますか。

【中西委員】

高齢化や夏の猛暑における熱中症、またインフルエンザの流行などが要因になっているのではないかと考えております。

【前田会長】

ありがとうございました。

他に御意見はないようですので、議題(1)についてはこれで終わります。

## 議題(2) 休日・平日夜間急病診療所の患者数と経営状況について

【前田会長】

続いて議題(2)、休日・平日夜間急病診療所の患者数と経営状況について事務局より説明をお願いします。

【事務局 野口補佐】

資料に基づき説明。春日井市健康管理事業団運営委員会にて急病診療所の持続可能な運営について協議していきたい旨を提案。

【前田会長】

議題(2)について、事務局から説明がありましたが、何か御意見や御質問などはございますか。

これから高齢化が進んでいくと、救急の要請は増加すると思いますが、急病診療所の需要も増えるかというところ、そうではないと思います。若い人だったら自分の車で病院まで行けるところを、救急車が呼ばれるということがおそらく増えると想定されます。今後の救急医療は、もちろん医療の体制もそうですが、高齢化社会においては、患者の搬送の方を考えなければいけないと思います。

高齢化した患者がどのように救急医療を利用するかというところが主な課題になりそうな気がします。

それと、急病診療所の近くに日曜も診療を行っている民間の医療機関ができて、急病診療所は1日分しか薬が処方されませんが、そちらは必要な日数の薬が処方されます。患者にとっては良いことですが、市全体のことを考えると、近隣で営業していると、急病診療所が経営的に厳しくなる可能性は出てきてしまいます。民間の医療機関の動きとの整合性が、難しいとは思いますが取れるといいなという印象を持ちました。

他に御質問はないようですので、議題(2)についてはこれで終わります。

## 議題(3) 春日井市新型インフルエンザ等対策行動計画について

【前田会長】

続いて議題(3)、春日井市新型インフルエンザ等対策行動計画について事務局より説明をお願いします。

【市民安全課 後藤補佐】

資料に基づき説明。

【前田会長】

議題(3)について、事務局から説明がありましたが、何か御意見や御質問などはご

ざいますか。

**【隈井委員】**

市の財政が厳しい状態でありつつ急病診療所を運営している状況の中で、現行の医療体制で有事の際に対応できるかということを考えると、平時から体制を充実させておくというよりは普段はスリムな体制にしておき、有事の際に適材適所でしっかりやっていくということになるかと思いますが、市もそのような考え方でよろしいでしょうか。

また、現在医師会から働きかけて三師会と市とでワーキングチームを運用開始しています。計画を丁寧に作ることも大事ですが、有事の際には迅速性、臨機応変さが必要になります。その中でうまくいかないところは直していくようにしないと、対応が難しいと思います。

このワーキングチームを定例化してもう少し格上げしていただいて、そういう対応をできるようにするという方向で考えていいでしょうか。平時からワーキングチームを活性化して、有事の際にすぐ動ける、顔の見える関係を構築しておかないと難しいと思いますが、市のご意見はいかがですか。

**【市民安全課 後藤補佐】**

今回の行動計画の改定は、国・県もそうですが、やはり平時からの準備が重要であることが改めて明記されたということもありますので、平時から医師会さんをはじめ関係団体と話し合いをしながら、平時については通常通り、有事の際はすぐに体制を組めるようにと考えております。

**【隈井委員】**

先ほど申し上げたワーキングチームには消防の方も参加していただいています。警察は県なので難しいとは思いますが、有事の際にだけ集まってもうまくいかないので、流動性と実質性のあるチームをしっかりと作っていくということを市も考えていただいて、ワーキングチームを昇格させていく方針があるかどうかをお聞きしたいです。

**【事務局 神戸部長】**

現在、災害対策として、市、市民病院、三師会、消防も入ってワーキングチームを運用しています。また、在宅医療の方でも連携を行っており、災害医療も含めたテーマとしてやっているのです、その連携をどうしていくかというところがあります。そこに日頃から警察も参加してもらえたらという思いもありますので、そのあたりを踏まえてどのような形がベストかを考えながらやっていきたいと思っています。

**【林委員】**

コロナ禍の経験から、誰が何をするのかという指揮命令系統がわかりにくいことがあったので、この行動計画に入れるべき内容かわかりませんが、そのあたりの根拠があれば助かると思います。また、有事の際に使用する報告書等の様式もあれば、事前に準備しておけるとは思いますが、どうなっていますか。

**【市民安全課 後藤補佐】**

ご指摘の内容については、行動計画ではなく、今後策定していく行動マニュアルの方が適していると考えております。先般のコロナ禍の経験と今回の行動計画の改定を踏まえて、現行の行動マニュアルを整理していくので、今のご意見も踏まえて、必要なものは入れていきたいと考えております。

**【前田会長】**

今の指揮命令系統の話に関連して、コロナ禍の初期の頃に、市役所なのか保健所なのかかわからず困った経験がありました。指揮命令系統の流れを、フローチャートのような分かりやすい形で記載していただけるといいと思います。コロナのような感染症発生時に同時にいろんなことを進めていかなければいけない状況で、誰が指示を出していくのか、誰が見てもすぐわかるような形にしておかないと困るのではないかと思うので、そのあたりも検討していただけるといいと思います。

**【隈井委員】**

医師会でも災害マニュアルを策定しましたので、市で行動マニュアルを作られるのなら、医師会のものを情報提供でお渡しするので、見ていただきたいと思います。

**【前田会長】**

災害と救急というテーマを、災害時の救急ととらえるのか、災害時の医療ととらえるのか、災害も救急も一緒に考えるのか、考え方が色々あると思いますので、フォーマットをどうするのかというところで混乱する可能性があるかなと思いました。

1点質問ですが、コロナの際に気になったのが、患者さんの搬送です。伝染性の病気の方を搬送するというので、救急隊の方も危険な環境の中でやっておられたと思いますが、消防の方ではマニュアル化されているのでしょうか。

**【消防救急課 渡邊課長】**

春日井市消防本部感染防止基準を策定し、運用しております。感染性の高い患者の搬送における装備や、帰ってきたら行う処理等を決めてありますので、同じようなことが起きた場合には基準に基づいて活動することが決まっております。

**【前田会長】**

ありがとうございました。それでは、これで本日の議題は全て終了といたします。

御協力ありがとうございました。

上記のとおり、令和7年度春日井市救急医療対策会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及びあらかじめ指定する委員1名が署名する。

令和8年4月21日

会 長 前田 誠司

署名人 林 きよみ